

第3回第4期つくば市教育振興基本計画策定委員会次第

日 時：令和7年（2025年）5月19日（月）

午前10時から正午まで

場 所：つくば市役所コミュニティ棟1階 会議室1

1 開 会

2 議事

(1) 今後のスケジュールについて

(2) 第4期つくば市教育振興基本計画の施策体系について

3 閉 会

配布資料

資料番号	資料名
資料1	第4期つくば市教育振興基本計画策定スケジュール
資料2	つくば市教育振興基本計画施策体系（第3期・第4期）
参考資料	つくば市教育大綱（令和7年（2025年）3月）
参考資料	第2回第4期つくば市教育振興基本計画策定委員会会議録

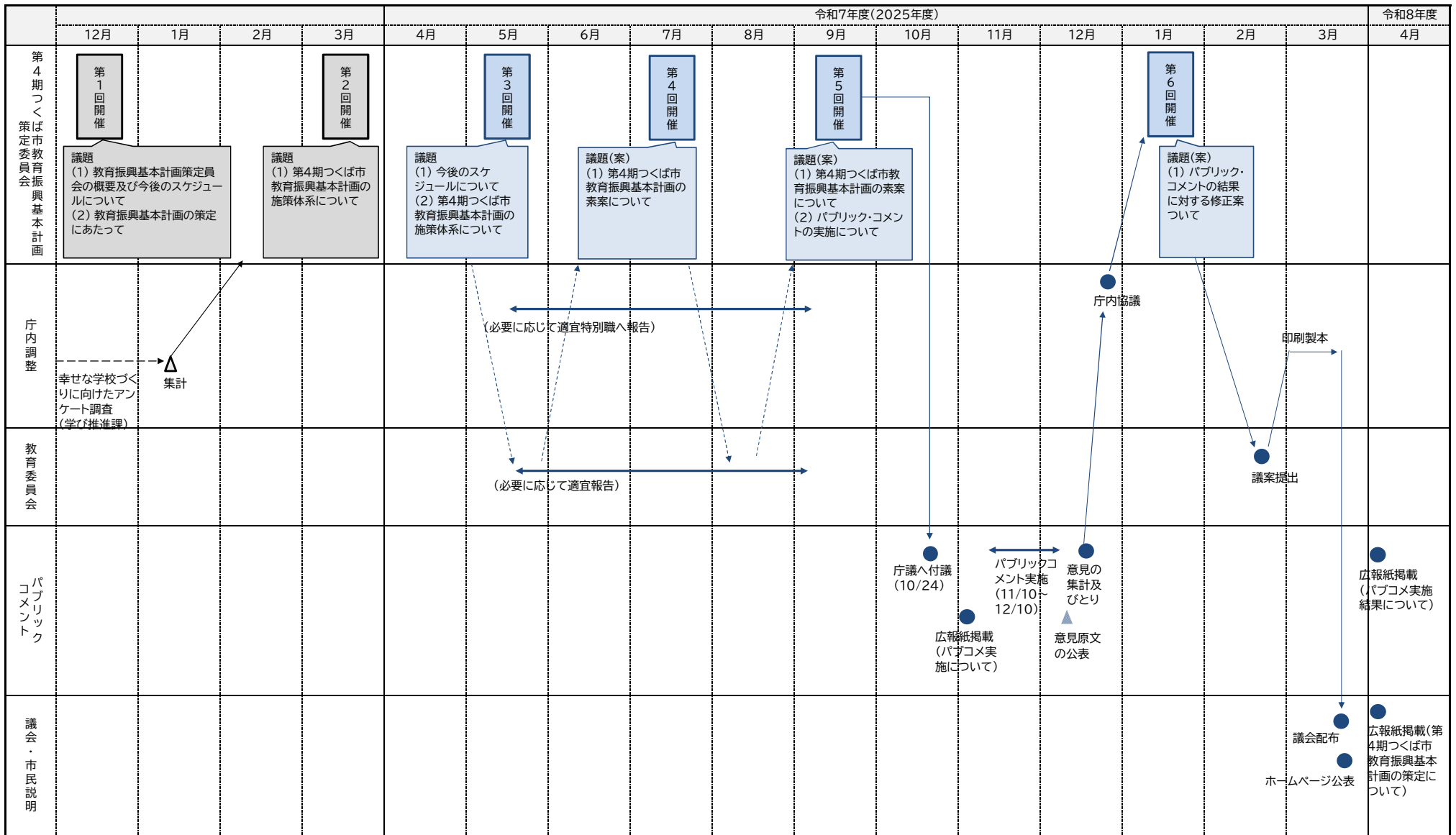
第4期つくば市教育振興基本計画策定委員会 委員名簿
(任期：令和6年(2024年)12月19日から令和8年(2026年)3月31日まで)

No.	選出区分	役職名	氏名	備考
1	(1) 学識経験者	筑波大学教授	樋口 直宏	
2	(1) 学識経験者	茨城大学名誉教授	正保 春彦	
3	(2) 保護者	つくば市 PTA 連絡協議会顧問	森田 修司	
4	(3) 学校長	学園の森義務教育学校長	永井 英夫	
5	(3) 学校長	並木小学校長	大村 千博	
6	(4) 幼稚園長	島名幼稚園長	富田 昌生	
7	(5) 教育委員	つくば市教育委員	和泉 なおこ	
8	(6) 市民	—	肥後 範行	
9	(6) 市民	—	西村 結美	
10	(6) 市民	—	中郡 奈々	

第4期つくば市教育振興基本計画策定スケジュール

資料1

令和7年5月1日更新
教育局教育総務課



つくば市教育振興基本計画施策体系（第3期・第4期）

「第3期つくば市教育振興基本計画」の施策体系				見直しの要素		「第4期つくば市教育振興基本計画」の施策体系（案）			
基本理念	基本目標	基本方針	施策	国の方針・市の方向性	○市の取組 ●市の課題 ★委員からの御意見	基本理念	基本目標	基本方針	施策
夢に向かってよりよい未来をひらく「学び」の実現	基本目標1 幸せな人生を送るために一人ひとりの「学び」を大切に	1 未来をひらく力を育む	1 個別・双方向の学びの推進 2 幼児教育の充実 3 学校外の学びの充実	【国の方針】 新たな教育振興基本計画（令和5年度～9年度） 今後の教育政策に関する基本的な方針 ①グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成 ②誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進 ③地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進 ④教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進 ⑤計画の実効性確保のための基盤整備・対話 【市の方向性】 第2期つくば市戦略プラン2020▶2024 基本施策Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む ■目指すべき未来2030年の未来像 こどもたちは、自分の好きなことを見つけ、個性を伸ばしながら、未来を切り拓いていく力を育んでいます。	●学校ごとに異なる状況やニーズに対応するため、それぞれの学校に合ったアプローチが求められる ●保育者が発達段階を理解し、日々の観察に基づいて適切な支援を行うことが求められる ★幼児期は非認知能力を育む大事な時期 ★遊びの中の体験が将来の学びにつながる ★教育大綱や基本計画の周知が十分でないのが課題 ○「幸せな学校づくりに向けたアンケート」を継続して実施する ★学校外の学びの充実が非認知能力につながる ●読書活動における学校間で貸出数や利用者数に差があり、読書活動の推進のためより効果的な取組が必要 ★教育の目的を知識の詰め込みだけでなく、もっと広くとらえる ★心の基礎体力、人間関係の力という言葉を使うか検討 ●重症化リスクが高い児童生徒など、一人ひとりに適した対応策の考慮が必要 ○市独自の日本語学習支援員を配置 ★「子どもの権利」や「福祉の視点」にも注力する ★権利保障と福祉の視点が必要 ★体系の中でも上位に上げるべきではないか ★インクルーシブ教育から具体的な学びへ発展するのでは ○不登校の児童生徒への支援体制の充実（校内フリースクール等） ★不登校対策として、校内フリースクールが効果を上げている ●社会教育施設の老朽化が進んでおり、計画的な更新が必要 ○教育大綱の理念を実現するため、市独自の研修を実施 ★教員のメンタルケアや校内の風土改善が課題 ●教職員の業務の負担軽減と労働環境の改善（部活動の地域移行等）	夢に向かってよりよい未来をひらく「学び」の実現	基本目標1 共に幸せな人生を送るために一人ひとりの「学び」を大切にする	2 未来をひらく力を育む	1 個別・双方向の学びの推進 2 幼児教育・遊びの充実 3 学校外の学びの充実による非認知能力の向上 変更理由： 特に幼児期においては遊びの経験が非認知能力を育む上で重要であるという視点から追加
	基本目標2 「学び」の多様性に対応する場と機会を整え、個性が花開く教育を推進する	2 豊かな心と健やかな体を育む	1 豊かな心の育成 2 健やかな体の育成 3 学びの場の感染症対策の徹底				1 共生社会に向けたインクルーシブ教育の推進 2 教育相談体制の充実と多様な教育ニーズへの支援 3 だれもが学べる社会教育・生涯学習の推進	1 豊かな心の育成 2 健やかな体の育成 3 学びの場の感染症対策の徹底 変更理由： 新型コロナウイルス感染症の5類移行等を踏まえ、基本目標2 基本方針5 施策1及び施策2へ統合	1 互いを認め合い、だれもが輝く「学び」を推進する 変更理由： 「教え」から「学び」へという理念を参酌し変更 また、インクルーシブ教育などは学びの前提条件であるという視点から、記載順を変更
		3 互いを認め合い、だれもが輝く教育を推進する	1 豊かな心の育成 2 健やかな体の育成 3 学びの場の感染症対策の徹底				基本目標2 「学び」の多様性に対応する場と機会を整え、個性が花開く教育を推進する	4 学び続ける教職員を支援する	1 教職員への支援体制の充実 変更理由： 教員のメンタルケアを含め、支援体制を充実させるという視点から変更 2 教職員の「働き方改革」の推進

		5 「学び」を保障する学校環境を整備する	1 学校施設・教育用備品等の充実 2 学校の安全体制の確立 3 学校等の適正配置 4 学校給食の充実	●各学校の教材や管理備品の優先順位をつけた計画的な整備 ★老朽化している施設の改修等が必要			5 「学び」を保障する学校環境を整備する	1 学校施設・教育用備品等の充実 2 学校の安全体制の確立 3 学校等の適正配置 4 学校給食の充実
		6 ICTを活用した教育を推進する	1 遠隔システムを活用したシームレス教育の充実 2 ICT教育環境の充実	●訓練や会議を通じて常に情報を更新することが必要 ●地域にとり様々な課題があり、地域住民との合意形成を図りながら検討を進めることが必要 ●地元産食材の利用促進のため、農産物の確保が必要 ○学習用端末やネットワーク・クラウド環境の整備			6 ICTを活用した <u>学び</u> を推進する 変更理由： 「教え」から「学び」へという理念を参酌し変更	1 デジタル学習基盤を活用した <u>学びの推進</u> 変更理由：一人1台端末の整備が完了したこと等を受け、表現を変更 2 ICT教育環境の充実
		7 「学び」を支える施設を整備する	1 図書館サービスの充実 2 つくばの歴史・伝統文化を体験できる場の整備	○自動車図書館の増設及び更新 ★自動車図書館の運営の見直しが必要 ★電子図書館サービスの充実も掲げるとよい ●動画配信や体験的な学びの機会を増やす			7 「学び」を支える <u>機会を広げる</u> 変更理由： ハード事業だけでなく、ソフト事業も充実させるという視点から変更	1 図書館サービスの充実 2 つくばの歴史・伝統文化を体験できる <u>機会の充実</u>
基本目標3 地域に支えられ、共に学び育ち合う教育を推進する	8 つくばらしさをいかした「学び」を推進する	1 つくばの特性をいかした学びの推進	●デジタル化や業務フローの見直しとともに、効率化を図りながら学びの深さを増すコンテンツづくりが必要 ○体験型科学教育「つくば STEAM コンパス」の推進	○令和7年度末までに市内全学園でのコミュニティ・スクールの導入を目指す ★コミュニティ・スクールの可能性に期待しており、どうあるべきか社会教育の視点から考えてほしい		基本目標3 地域と <u>共に学び合い育ち合う</u> 教育を推進する 変更理由： 子どもが支えられる視点だけでなく、地域に参画して子どもと大人が共に育つという視点から変更	8 つくばらしさをいかした「学び」を推進する	1 つくばの特性をいかした学びの推進
	9 「学び」を支える協働体制を充実する	1 社会全体で支える子どもたちの学び 2 家庭への支援の充実	●地域に根差し、学校や生徒との信頼関係を築ける質の高い学習チューターの確保が必要 ★貧困家庭の子どもへの支援の必要性 ★社会の変化として相対的貧困率の上昇		9 「学び」を支える協働体制を充実する		1 社会全体で <u>大人も子どもも共に育つ学び</u> 2 家庭への支援の充実	